

研究に集中できる状況のいま 子育ても真っ最中！ 夫婦二人でがんばってます。



小笠原 寛 *Hiroshi Ogasawara*

学術研究院助教(繊維学系(ヒト環境科学研究支援センター))
(ヒト環境科学研究支援センター 生命科学分野 遺伝子実験部門 助教)

熊本県出身。近畿大学農学部農芸化学科、同大学院農学研究科修了、博士(農学)取得。法政大学マイクロナノテクノロジー研究センター研究員、法政大学生命科学部研究員、日本学術振興会特別研究員等を経て、2011年より現職。研究分野は分子生物学、ゲノム微生物学。現在の研究課題は、細菌の表層ストレス応答機構の研究。

学生へのメッセージ

研究者の世界に、男女による違いはありません。日本における女性研究者に対するサポート体制はさらに充実させる必要がありますが、男女問わずにぜひ多くの人にがんばって研究者の道を目指してほしいです。

研究者として生きていくことは、時間のやりくりの面でも厳しい点がありますが、興味を持ったことを一生突き詰めていけるとても面白い道だと思います。自分が「これだ」と思えることを見つけたら、それに対してまっしぐらに突き進んでいってください。必ず道は開けます。



現在子どもは、小学校2年生の長男を筆頭に3人。全員が男の子で、三男は生まれたばかり。親元から離れているので、子育ては夫婦2人で。といっても、ウィークデーは仕事なので、せめて休日は一日中家族で過ごすようにしています。

休日には家族で買い物にいたり、時々子どもを連れて地元の名所を周ったりすることも。妻の指示なしで家の仕事が自然体でできるようになりたいが、なかなか難しい。



Time Schedule



07:00	起床 家族全員揃って朝食
09:00	出勤
-	-
18:00	子どもの通園バスの お迎え(週1回)
-	-
21:00	帰宅・入浴・食事
-	-
24:00	就寝

職を求めて 東京から信州へ

私は九州出身で、学生時代を関西で過ごし、就職で東京に行き、5年前から信州大学にいます。東京での就職先は私立大学の新設学部で、知り合いの先生が研究室を立ち上げることになり、5年間ポスドク(ポスドクター)として仕事をしました。

結婚生活を始めたのも東京で、2年目に長男が生まれ、経済的にも厳しいなか、妻もバイトをしながらがんばっていました。ポスドクの契約には期限があるので、仕事をしながら次の職を探さなければならず、不安定な日々を送っていました。

長男が3歳のときに信州大学で採用となり、上田に来ました。こちらに来て2年後に次男が誕生し、今年三男が誕生したばかりです。子育て真っ最中です。

大腸菌の 遺伝子発現を探る

私のメインの研究は、細菌のバイオフィーム形成機構を明らかにすることです。中でもバイオフィーム形成に関わる遺伝子機能とその発現制御の全貌を明らかにしたいと思っています。実はモデル生物としてよく知られている大腸菌ですら、約4500ある遺伝子のうち約1000個は機能

がよくわかっていません。バイオフィーム形成時にはこのような機能未知遺伝子の多くが働いていることが明らかになってきています。この遺伝子実験施設(ヒト環境科学研究支援センター)に来て、こうした機能未知遺伝子の幾つかを明らかにしてきました。

ポスドク時代のことを考えると、今は腰を落ち着けて研究をさせていただいているので、とてもありがたいです。

主婦の仕事の 大変さを知る

妻は元々、正社員として仕事をしていましたが、結婚して東京に移住することになって仕事を辞めました。普段は妻に家事全般を任せきりで、今の私の役割と言えば、週1回、夕方の子どものお迎えと、休日に買い物に行ったり、子どもたちと遊んだり、散歩に出かけたりするくらいでしょうか。3人目が産まれるときも、妻の母が応援に来てくれる予定になっていて、仕事を休むことは考えていませんでした。しかし、思いがけずに出産の予定日が2週間早まったことで、育児のために休暇を取り、入院する妻に代わって普段しない家事をせざるを得ない日がやってきました。折角なので、掃除、洗濯、料理、買い物…取りあえず妻がやっていることを

手を抜かずに、全部やってみようと思いましたが、小さい子どもたちとの生活はハプニングの連続で、自分のやる気とは裏腹に、予定通りにはいかないことばかりでした。改めて主婦の仕事の大変さが分かりました。

妻の仕事を辞めさせてしまったことを今でも申し訳ないと思っています。子どもが3人になって、実家も遠いので親の協力も得られないということで、今は妻が働くのはちょっと難しい状況ですが、子どもの手が離れて、仕事ができる状態になった折には、全力でサポートしていきたいと思っています。

Focus!



通勤に使っている自転車は、学生時代から乗っている年季もの。東京でも通勤に利用していました。2年前まで官舎に住んでいたため暫く使っていませんでしたが、引越しをして、家が少し遠くなったので今はほぼ毎日乗っています。これからも手を入れながら大切にしていきたいと思っています。